

12月20日（日）に近鉄特急に乗車した時の備忘です。

近鉄特急のうち12200系が目当てなのは間違いないですが、瀧原宮訪問で乗車した紀勢本線の、特に多気駅から滝原駅までが強烈な印象だったので、その辺りの記述が長いです。

近鉄名古屋7時50分発の鳥羽行き713列車が12200系のためこちらに乗車する形で行程を組み立てた。前回の12月2日（水）と同じ列車であるが、行き先は平日は宇治山田行きであったが日曜日の今日は鳥羽行きである点が異なっている。この713列車に乗るには東海道新幹線は東京6時発のぞみ号に乗車しないと間に合わない。寒波が来ており関が原の雪で新幹線が遅れないかが気になったが、のぞみ号は定刻の7時34分に名古屋駅に到着した。近鉄名古屋駅に向かい、ホームを見たら鳥羽行き713列車はまだ入線はしていなかった。

「近鉄全線3日間フリーきっぷ」を出札窓口で引き換えしたが、なんと総括券の掲示を求められた。総括券を持ってきて良かった。出札窓口は1箇所しか開いておらず、前に並んでいる中年女性が「しまかぜ」の購入でなかなか進まず少し焦った、と思ったら自分もフリー切符の発券と特急券の発券で少し時間を要した様子で後ろに列を作ってしまった。フリー切符を、特急券を、受け取り改札を通過して特急列車が出発する4番5番ホームへ向かう。

鳥羽行き713列車入線の動画撮影はなんとか間に合った。出札窓口で自分の前の女性がいなければもう少し早めに撮影開始できたかもしれない。名古屋駅では数名の撮り鉄を見かけた。撮り鉄の対象は自分が乗ろうとしている12200系だ。今や希少価値と化しているが、22600系の4両編成は2編成しかないのだから3編成ある12200系の方が乗車確率は高いのでは？しかも12200系はシートマップから特定できるが、22600系と22000系はシートマップからではどちらが来るか特定できない。参考までに京都側は12200系の39編成が、検査とかに入らない限り、毎日複数往復の運行があるので12200系見たしであれば京都側へ行くのが間違いない。事前情報では当初の自分の予想の51編成ではなく49編成がやってくるはずだったが、結局は、最終的には自分が予想した、51編成がやってきた。ツイッターの情報だと49編成だったが、どうもツイッターだと急ぐのか誤情報をアップしてしまう人もいるようだ。結局はブログの記述が正解だった。特急券は出札窓口氏に2号車の進行方向右側、柱のないところをお願いして発券してもらった。着席前にももちろんというか当然だが、出発の様子を動画で撮影する。今回1号車のクの運転席の近くで撮影したが、車掌さんの動きによる音が録れたのは良かったが、クだとモーターの音がなく、どうも物足りない。

名古屋からの近鉄名古屋線と山田線は何度も通った道だが、鈴鹿山脈だろうか雪景色だった。このところ寒い日が続いているからだろう。山田線の宇治山田駅から一つ鳥羽線に入った五十鈴川駅から先は久しぶりの乗車のため少し力を入れて？車窓を眺めた。

鳥羽駅到着時点で2号車の乗客は自分だけ。3分間の接続で各駅停車の賢島行きに乗り換えるがなんと階段での乗り換え。しかも先頭の6号車の近くが階段。間に合ったが慌てて乗り換えをした。動画を見たら、こんな遠いのみみたいな独り言を発してた。乗り換えの最中に賢島行きの止まってい

るホームの反対側に京都からの701列車の特急が到着した。この特急列車については何も記憶に残っていない。殆ど同時接続に近かったからか。時刻表を見たら1分間の接続だった。翌週のシートマップを見たら「12400、12410、12600系」の様子で、思い出したらなんとなくそうかなと思うようになった。701列車の特急からの乗り継ぎを乗せて賢島行き各駅停車は出発した。鳥羽駅では撮り鉄は見かけなかった。乗り継ぎ時間が短過ぎて目に入らなかったのかもしれない。

志摩線は鳥羽駅から中之郷駅の間以外は全て特急列車に乗車したのでじっくり？と各駅停車に乗るのは今回が初めてだった。良くツイッターで写真が上がっているのは

- ・志摩赤崎～船津の加茂川沿いの単線区間
- ・船津駅の鳥羽側（鳥羽側は単線区間なので列車が並ぶ確率が高い）

という事も初めて知った。以前に志摩線に乗車した時は白木～五知の青峰トンネル（複線）で特急列車のスピードが出ていた事位しか記憶にない。とにかく線形が良くないためゆっくりと走行する。乗客は殆どが地元の人だが中にはリュックを担いでいかにも観光だなという人がいる。殆ど手ぶらに近い自分はどのような人に見えるのだろうか。

上之郷駅に9時56分に到着。ここで降りたのは自分以外は地元の人。すぐ近くに皇大神宮（伊勢神宮内宮）の別宮である伊雑宮があるのだが。ようは列車から参拝に行く人はあまりいないのかもしれない。この後、10時31分発の伊勢中川行き・各駅停車に乗る予定だが、余裕で伊雑宮を参拝できたので上之郷駅に戻り10時31分までの間、賢島方面行きの

- ・10時21分発の各駅停車
- ・10時25分に通過した6803列車の特急（ビスタカー4両編成）

を見物できた。各駅停車が出発した後、賢島方面の出発信号が赤からオレンジに変わったのもしかしてと思ったら、予想通り特急列車が通過した。

上りの10時31分発の伊勢中川行き・各駅停車に乗車する。次の目的地は五十鈴川駅だ。意外だったのが鳥羽から乗客が増え2両編成の各駅停車はほぼ席が埋まった。立ち客も出てきた。地元の人もいたが観光客もいた。もしかすると鳥羽からの乗客は鳥羽に宿泊し、今日は伊勢神宮参拝かもしれない。

自分は五十鈴川駅で下車（11時07分着）し徒歩で皇大神宮（伊勢神宮内宮）の別宮である倭姫宮へ向かう。駅から駅前広場辺りを歩いた時は急ぎ足だったせいか五十鈴川駅でどのくらいの人が降りたか覚えていない。五十鈴川駅から倭姫宮最寄りの徴古館前までバスという手もあったが、全行程歩きでも、徴古館前までバスで行きあとは徒歩の行程であっても殆ど同時着と思われたので確実な全行程歩きにした。結果バスの行程より早く現地に到着した。

倭姫宮での参拝を終え次に皇大神宮（伊勢神宮内宮）の別宮である月讀宮へ向かう。倭姫宮最寄りの徴古館前からバスに乗車し中村町で下車して徒歩で向かう行程の選択肢もあったが、御幸通りの途中から、御幸通りが近鉄鳥羽線をクロスする前あたりで左折し、中村町バス停がある御幸通りと反対側の道路（国道23号線）から月讀宮へ全行程徒歩で行くことにした。結果はバスが中村町に到着する頃（11時47分）、月讀宮へ到着した。中村町のバス停は月讀宮の南の方にあり月讀宮

まで多少歩くためその分の時間を節約？できたと思う。月讀宮での参拝を終え次に皇大神宮（伊勢神宮内宮）へ向かう。

内宮に向かう時に月讀宮から中村町のバス停へ歩きバスの時刻を見たら 12 時 07 分発、12 時 11 分には内宮に到着する。こちらは徒歩が正解か微妙なところだが確実性を取り歩く事にした。ちなみに今まで歩いたルートは過去に外宮から内宮へ御幸通りを歩いた経験が多少なりとも役に立っている。自分は内宮には 12 時 13 分に到着。到着直前に抜かれたバスが本来なら乗るバスだったのだろうか。側面の行き先の案内表示が終点近かったからか何も表示がないバスであったが実際にはどうなのか。ただ、バスからは数名以上が降車した。バスよりは 1 分ほど遅れて内宮に到着したと考えよう。

内宮では、五十鈴川で手を清めたあと、人が並んでいた御朱印を受ける場所がまずは気になり、最初に御朱印を終えた。今いる内宮は 2 回目、これから向かう外宮は 4 回目、もっとも混んでいるのは内宮というのも分かっていた。しかも並ぶとかの時間を要するのは御朱印だという事も分かっていた。要するに内宮の御朱印が終われば時間がかかるものはない。この御朱印を終えた時、時間的にかなり余裕ができたと思われたので伊勢神宮の無料インターネットに接続し列車の時刻を調べる事にした。ただ、最初は手持ちの、昨日以前に事前に調べた情報から 12200 系を伊勢市駅あたりで見れるかを調べた。調べたところ賢島からの 12200 系を伊勢市駅で見れそうだった。当初予定では伊勢市駅から参宮線で多気駅へ向かい、多気駅から紀勢本線新宮方面の列車に乗車し、滝原駅から皇大神宮（伊勢神宮内宮）の別宮である瀧原宮へ向かう予定だったが、瀧原宮へ行くことが今回の行程的に最も厳しかったから、瀧原宮へ行けることを前提に行程を組み直した。まずは一旦松阪駅へ向かい、松阪駅で紀勢本線新宮方面に乗車しても滝原駅に到着できるだけの余裕があることが分かった。松阪駅からだと新宮方面に向かう場合、多気駅で乗り継ぎが発生する可能性があるが、同じ JR 東海の列車であり、よほどの事がない限り接続する、はず。本来乗車予定の伊勢市駅から滝原駅までの行程であっても多気駅で新宮行きに乗り継ぐ必要があり、接続に関しては松阪から乗車しても同じ条件だった。さらに伊勢市駅では 14 時 16 分発の賢島からの 12200 系 49 編成である 7314 列車の特急に松阪駅まで乗車できることが分かった。しかも松阪駅では 40 分の時間があるので 7314 列車が多少遅れても何とかなる。行程を見直した時は「式年遷宮記念 せんぐう館」の見学でも良いかなと思ったが、今朝方乗車した 12200 系 51 編成ではなく 12200 系 49 編成に乗れるのが決め手になり、松阪駅まで向かう事にした。

名古屋行き 7314 列車（12200 系 49 編成）

伊勢市 14 時 16 分発

松阪 14 時 28 分着

鳥羽行き

松阪 15 時 08 分発

多気 15 時 17 分着

新宮行き

多気 15時23分発

滝原 16時02分着

の行程にし、神風伝説？の風日祈宮と内宮の参拝をし、バス乗り場まで戻った。実はバスも狙いを付けていた。毎時（この時は13時）ちょうどに豊受大神宮（伊勢神宮外宮）に向かうバスは五十鈴川駅経由ではなく御木本道路を通過して直線的に進むので所要時間が短い事から、このバスに間に合うように内宮を出発しバス停まで向かった。バス乗り場には案内の人もいて五十鈴川駅経由ではない事をアナウンスしていたし、バスの乗車券をチケット売り場で購入する時にも所要時間が短い便かを確認することができた。すなわちここでも時間を節約できた。五十鈴川駅経由と比較して13分間ほど早く外宮に到着する。

13時11分頃、外宮に到着。神風伝説？の風宮と外宮を参拝し豊受大神宮（伊勢神宮外宮）の別宮である月夜見宮へ向かう。

月夜見宮は外宮から伊勢市駅への寄り道がてらであり徒歩で問題なかった。13時44分頃に月夜見宮を離れ、伊勢市駅までゆっくりと歩く。14時16分発の7314列車に乗れば良いので焦らなかった。

7314列車の特急券を購入し、アナログの時刻表で松阪駅から滝原駅までの列車時刻を確認して近鉄線のホームへ向かう。特急券の購入は今すぐ乗るかそれともの選択ができる画面だったのでシートマップから座席指定もできた。伊勢市14時11分発1213列車鳥羽行き特急を見物する。1213列車は22000系の2両編成と「12400、12410、12600系」の4両編成が併結していた。乗車する7314列車名古屋行き特急（12200系49編成）を待つ。撮り鉄はいなかったと思う。

7314列車名古屋行き特急は1号車を選択したが以前に乗車した51編成の1号車と異なり、タバコの匂いが殆ど残っていない。不確かだが、51編成には棚網に空気清浄機があったと思うが、この49編成には空気清浄機はなかった。またクの窓割りは4両編成の他の3両と異なっている事をすっかり忘れていた。窓枠の柱が自分の席のところへ来てしまった。ま、乗車時間も短いし、座席と柱の隙間から先がよく見えるので良しとするか。

松阪駅には14時28分に到着。ここでは撮り鉄が上りホームにも下りホームにも居る。名古屋駅以来久しぶりに撮り鉄を見かけた感じだ。JR側の駅舎の方に出て松阪駅から滝原駅への往復乗車券を自動券売機で購入する。窓口で購入すればクレカでいけたかもだが、自動券売機では現金のみだった。夕方に津駅からここ松阪駅まで来て、それから名古屋駅に戻る可能性もあったので駅構内にある「まつさか交流物産館・松阪市観光協会（18時まで）」と「駅弁のあら竹（21時まで）」をチェックし、のんびりとしていた。14時50分頃、そろそろと思い、改札口から乗車する紀勢本線のホームに入ろうとしたら14時47分発の下り列車も上り列車も電光掲示板に表示されたままだった。どうも下り列車（松阪から多気）が遅れているようだ。あまり覚えていないが上り快速みえ名古屋行き14時47分発と下り快速みえ鳥羽行き14時47分発のうち下りが遅れていた。

上り列車は出発を待っている状態だった。

→ 単線なので下り列車が到着するまで上り列車は出発できない。

この時点では滝原駅（瀧原宮）が最重要であり、15時08分発の鳥羽行きに乗車だけが気持ちとしてあった。しかも駅の構内放送でも鳥羽行きは多気駅で新宮行きに接続する事のアナウンスもされている。鳥羽行きに乗る、これだけに集中した。14時55分着14時56分発で名古屋行きの特急南紀もあったがもう気にならなかった。強いてあげると電光掲示板では南紀は2両編成になっていたことが気になった。グリーン車の連結もない。乗客少ないんだろうな、きっと。この御時世しかたないのか。ニュースになっていたので知ってはいたが、現実を見せつけられると。。。14時55分頃、何気に名古屋方面を見ていたらなんと12200系の鳥羽方面の特急列車がやってきた。これは見落としだった。自分が乗ってきた7314列車名古屋行き特急で松阪で下りずそのまま伊勢中川（14時35分着）まで行くと、伊勢中川（14時51分発）から1313列車鳥羽行き特急に乗車できるのだ。松阪着は14時57分であり、松阪15時08分発の鳥羽行き普通列車にも間に合う。慌てて近鉄線ホームまで行き動画を撮影した。到着の動画は間に合わなかったもの、出発の動画は間に合った。ただ、近鉄線が遅れたらJR東海（紀勢本線）は接続しないので、この伊勢中川への往復はしなくて良かったと思う。本日の結果からすれば乗り継ぎは問題なかったが、乗り継げなかった時の落胆は半端ではなかったと想定できるので、、、その位滝原駅（瀧原宮）にこだわった。

15時08分発の鳥羽行きはやはりというか遅れていた。遅れは4分位だろうか。この遅れで名松線の15時11分発伊勢奥津行きも遅れて出発した。遅れについてはなるべく解消してほしい。何せ滝原駅での折り返し列車への乗車までの時間が減ってしまうと滝原駅から訪問予定の瀧原宮への往復行程時間が減ってしまうからだ。

自分の乗車していた列車は4分ほど遅れたままで多気駅に到着した。多気駅では自分が乗車した鳥羽行きは15時17分着の15時21分発だったが、この停車時間の中に遅れをリカバリできるのだが、伊勢市駅始発でやってくる、本来の予定なら自分が乗車していた亀山行きが多気駅15時20分着の15時22分発だが、到着が遅れた。多気駅から鳥羽側は単線なので伊勢市始発の列車が多気駅に到着しないと自分が乗っていた鳥羽行きは出発できない。細かい事だが亀山行きは多気駅1番線か2番線、新宮行きは多気駅3番線、線路をクロスする必要があるので亀山行きが来ない限り新宮行きは出発できない。接続は取るはずなので、亀山行きが到着しない限り、新宮行きは出発しない。1番線、2番線の島式ホームと3番線は階段で連絡する。そのせいもあり、自分が乗る多気始発の新宮行きは15時23分発のところ4、5分遅れで出発した。

幸いにも上り列車とのすれ違い交換は滝原駅より先の駅までなく、川添駅で3分間の停車がある、以上から川添駅出発時点で遅れは解消するだろうと考えた。

多気駅から2つ目の佐奈駅でアジア系の若い女性が数名下車する。そのまま駐輪場へ向かったので農業研修と農業実習とかだろうか。

ここから平野を抜けて山あいに入っていく。ローカル線色がますます濃くなってきた。佐奈駅の近くを流れる川と次の栃原駅の近くを流れる川の流れは正反対なので佐奈駅から栃原駅の間、若干

だがサミットがあるはず。栃原駅からは宮川に沿って列車は少しずつ上り始めた。正直、滝原駅に定時到着して欲しいの気持ちが強く、景色というか車窓はあまり覚えていないというか左右に列車がカーブするが、人家が少ないの印象しか残っていない。多気駅の次の相可駅は棒線だが他の駅で特急南紀が停車する三瀬谷駅以外は、対向式ホームで屋根無しの跨線橋、駅舎は簡易なものに建て替えられた、の様態だった。

滝原駅二つ手前の川添駅で停車時間を殆ど取らなかった事から定時運行になった。少し気持ちも楽になった。特急南紀も停車する三瀬谷駅を出発し左にカーブすると進行方向右側に宮川のダムが見える。宮川を鉄橋で渡り列車は南へ向かった。

滝原駅には定刻で16時02分に到着。駅舎のある、駅前広場側のホームに到着。地元の高校生位の男性と自分だけが下車した。ホームから簡易駅舎を通り抜けそのまま広場に出て歩き始める。大内山川の橋を渡り、国道42号線は信号無視の形で横断し（時間がギリギリなのでホント申し訳ない）、42号線の東側に並行する小路を進む。瀧原宮への道のりは事前に地図とストリートビューで徹底的に調べておいたので頭に入っている。往路は多少は小走りをし、頓登川（とんど）の御手洗場、参拝、御朱印を済ませ、復路は普通に歩き、今度は国道42号線の信号を守り16時43分に滝原駅に戻る事ができた。山合いの夕方で東京よりは西にとは見え目にはだんだんと厳しくなっていく。瀧原宮から滝原駅に戻る行程の中間地点位で、鳥居から瀧原宮の間ですれ違ったのではないかの中年男性が滝原駅の方に歩いているのに気づいた。ようはすれ違ったか自信が無いのだ。続いて滝原駅に入る直前に大内山川の橋を渡るのだが、自転車に乗った小学校中学年くらいの女の子が挨拶をしてくれた。嬉しかった。最終的にはすれ違った？自分が追いかけている？男性も滝原駅に向かった。自分と同じ16時53分発の多気行き普通列車に乗車するのだろう。滝原16時53分発の多気行き普通列車がやってくる。定時到着だ。ワンマン運転で乗車位置が良く分からなかった。2両編成だし、2両目の一番最後の、運転席寄りのドアから乗ろうとしたら間違っていた。もう一人の乗客である中年男性は乗る場所のドアの位置を把握していた。跨線橋の上から駅構内？方向の写真撮影もしていたし、もしかすると乗り鉄？、それとも旅慣れた人？、まさか地元？謎のままその中年男性に続いて普通列車に乗車する。自分の見落としかもしれないが、滝原駅のホームにはワンマン運転時の乗車位置の掲示がなかったと思う。できれば掲示は欲しいな。ホームにペイントしてあったかもすら思い出せない。これで、帰京できるという事で一安心。何がそんなに不安なのか？？？ま、この後の滝原17時56分発の普通列車でも帰京できるのだが。宿泊のあてもない所（正確には信号無視した国道42号線の横断歩道の近くに民宿が1軒あるが）で、人も見かけない、もちろんお店など無い暗い中、僅かな時間であっても、この様な所に独りで居るのは不安になるものだ。普通列車に乗れた時は本当に安心した。12月2日（水）の近鉄の飛鳥駅でも寒い中、駅のホームと待合室で列車を待ったが、この場合は、20分強歩けば橿原神宮前駅近くに来れるし、駅近くの国道にはお店とかのライトもある。特急列車も普通列車もまだまだ夜遅くまで本数があり、無人駅ではない、高校生も含めて乗客もそこそこいる、だったのとは根本的に異なっていた。

この日の三重県の日没は16時51分であり乗車して一息ついたら車窓は全くダメになった。三瀬谷駅辺りで真っ暗になったと思う。三瀬谷駅到着前に進行方向左側に見える宮川のダムがなんと

か見れたかなという位だった。

滝原駅から二つ目の川添駅で亀山発新宮行きの列車とすれ違う。この列車は車掌が乗車していた。ちなみにすれ違う列車の方が先着先発だった。タブレット閉塞だと多気行きが先発だが。このすれ違い列車は滝原駅を17時20分に出発し大内山駅まで乗車して折り返すと滝原駅を17時56分に出発し松阪で紀勢本線から近鉄山田線の名古屋行き特急列車（アーバンライナーの一択で名古屋20時20分着の1812列車）に乗り換えると今回のツアーで予約していた名古屋20時49分発の東京行きのぞみ号に間に合う。日が長ければ、あと津駅での12200系見物に拘らなければ、滝原駅16時02分着17時20分発となり瀧原宮訪問も多少は余裕もってできるし、紀勢本線の乗車区間をプラスできる。ただ、プラスできる区間は追加の運賃がかかるし、大内山駅での折り返しは時間が少なくかつ跨線橋で移動する必要があるので前もって松阪駅で乗車券を購入しておいた方が良いかもしれない。大内山駅では新宮行きが先に到着し多気方面の亀山行き出発まで4分あるから折り返しは大丈夫かとは思うが。こんな時はタブレット閉塞だと通票授受が終わるまで出発できないから安心できるわ、笑笑。通票と一緒に行動すれば乗り遅れる事は無い。

「偉大なるローカル線、紀勢本線」

松阪から滝原の間の紀勢本線の乗客は総じて自動車を保有していない若者の世代、運転免許を返納したけど少しでも社会活動をしている、したいの初老から老人の世代、農地で働いているのかのアジア系外国人女性、その年齢なら自動車で移動だろうと思うが何故？のグループ旅行の男性、といったところだった。自動車で移動した方がいいのでは、という地元風の独りの女性（この辺りなら自動車免許並びに自動車保有は必須と思うので）もいた。彼女は黙々と読書に勤しんでいた。また参宮線と直通運転の快速みえが走行する区間（松阪から多気）は平野も多く、近鉄線も半分平行するので、それなりに人の移動があるが、多気駅から南側の本線は特急列車で南紀があるとは言え乗客も住んでいる人も少なくて今まであまり見なかった別世界の景色に見えた。首都圏だと上越国境（水上から越後中里）を除く上越線の方がまだ乗客も沿線の人もあるのではないかな。

あとは真っ暗な中、多気まで列車は走行する。景色というか車窓は全く見えない。2両編成の列車で乗るは1両目の後ろのドア、降りるは1両目の前のドア、自分が乗車したのは2両目という事で乗客の出入りが無かったと思う。1両目に乗車していれば少しは違った乗客の様子が見れたかもしれない。終着の多気駅（17時28分着）への入線で、ちょうど参宮線と合流するあたりのカーブで少し止まったが、乗り継ぐ列車である伊勢市駅始発の亀山行き普通列車（17時33分着の17時39分発）との間に接続時間があることから気にしなかった。多気止まりの列車は1番線に到着。亀山行きは2番線に到着した。同じホームで乗り換えができた。

多気駅からは亀山行きに乗車。この列車には車掌が乗務していた。二つ目の松阪でこのまま乗るか近鉄に乗り換えか迷ったが、松阪駅のホームに降りて電光掲示板の時計を見たら若干、2分弱遅れている。17時48分着が17時49分着で出発は17時51分。津到着はこのまま亀山行きに乗車する方がここで近鉄に乗り換えるより数分早い。亀山行きだと津駅到着は18時14分、近鉄だと18時19分だ。亀山行きの遅れが分かった時点で近鉄線に乗り換える事にした。17時49分発の伊勢中川行き各駅停車の次に来た17時54分発の名古屋行き急行に乗車する。書いていて気づい

たが近鉄も各駅停車が少し遅れている。当時は気づかなかった。松阪駅を出て直ぐに左側に自分が乗っていた亀山行き普通列車を見かけた。やはり遅れて出発した様子だ。亀山行きは気動車、自分が乗っている急行は電車、加速性能が異なる。近鉄の急行電車は気動車を抜き去りスピードを上げて行った。伊勢中川を過ぎ、久居か南が丘の辺りで急行電車は急ブレーキをかけた。安全確認が取れたとの事で一旦停止せず再度走行に入ったが少し遅れが発生した様子で津駅では対向する大阪難波行き特急列車を見れるかギリギリのところになってしまった。元々この急行電車が津駅に18時19分着、特急列車は18時21分着と余裕があまり無かったのだが殆ど同時に津駅に到着しそうだ。幸いにも津駅は番線が2しかなくホームも島式なので移動距離は少なかった。津駅到着前にドアの近くに行き動画撮影体制を整える。自分が乗車している急行電車は6両編成だし難波行き特急列車も6両編成だから、急行電車には伊勢寄りの最後尾の車両に狙って乗車した。

津駅に到着し、急行電車のドアが開く前から動画撮影を始めたが、電車から降りてホームを横切ったところで難波行き特急列車が減速してやって来た。正にちょうど停車するところだった。特急列車は今朝方乗車した51編成だった。

18時22分発の名古屋からの難波行き特急167列車（12200系の51編成）の動画を撮影し、そのまま反対側の番線に到着した

18時24分発の難波からの名古屋行き特急ひのとり17列車も続けて動画撮影する。

18時27分発の鳥羽からの名古屋行き特急1712列車は名古屋側が「12400、12410、12600系」の4両編成と大阪側が22000系の4両編成だった。この列車が到着出発の間にホームの売店でお土産を購入する。「近鉄全線3日間フリーきっぷ」付いている「近鉄エキファミ飲料引換券」1枚「地域共通クーポン」2枚のレジ処理に時間がかかり少し焦ったが、次の1713列車の動画撮影には間に合った。

18時36分発の名古屋からの鳥羽行き特急1713列車（12200系の49編成）の動画を撮影し、本日の12200系は終わった。この1713列車に乗車し、伊勢中川か松阪で折り返し、名古屋に戻っても良かったが（戻る場合、アーバンライナーの一択で名古屋20時20分着の1812列車）夜は車窓が楽しめないのも駅構内を除いて動画を撮影してもイマイチな事は過去から分かっているから今日はこれからの12200系乗車は諦めたというか止めた。当初予定では12200系49編成乗車は津駅から伊勢中川駅もしくは松阪駅までで、この夜間の走行を予定していたが、昼間に伊勢市駅から松阪駅まで12200系49編成に乗車できたのも12200系乗車は諦めた大きな要素かもしれない。駅のホームで名古屋までの特急券を購入。ホームで購入できる特急券は間近の列車のみでシートマップから座席を選べないようだ。本日最後の特急列車乗車だしビールでもと思いホームの売店ではなく2階改札口近くの売店でビールと最後に一つ残っていた赤福を購入。

18時47分発の難波からの名古屋行き特急アーバンライナー717列車を見たあと

18時50分発の賢島からの名古屋行き特急7714列車に乗車する。松阪17時54分発の名古屋行き急行で伊勢中川駅3分間の停車中にネットで津駅からの特急列車を調べていたらこの7714列車が22000系か22600系であることははっきりしていたので、22000系か22600系に乗れるというのも鳥羽行き1713列車（49編成）に乗車するの

を止めた大きな理由かもしれない。鳥羽行き 1713 列車に乗車すると名古屋への戻りはアーバンライナーしかなく、この名古屋行き 7714 列車の後は汎用形特急車両に乗るチャンスはなかったので 18 時 50 分発の賢島からの名古屋行き特急 7714 列車を最終的には選択した。やってきたのは 22000 系の 4 両編成だった。

直前に特急券を購入したので座席は 1 号車の右側、柱の所の座席になった。1 号車には女性専用トイレがある。この 22000 系は 3 度目の乗車だが本当に快適な車内だと思う。あとは更新された 22600 系の 4 両編成か。1 号車には喫煙ルームがあるのだが、利用者もまあまあいて喫煙に対するサービス提供も悪いとは思わなくなった。ただ、職場では勤務時間、懇親会、他で喫煙に関してはもの凄く不平等を感じるが。7714 列車には喫煙ルームのある側の乗降口から乗車したが、タバコの匂いも感じさせない。喫煙ルーム自体はなかなかと思った。少なくとも 12200 系の 51 編成のクの内よりはタバコは匂わない。

名古屋駅には 19 時 43 分に 5 番線に到着。津から乗車した 7714 列車が到着する直前にウエストミンスターのチャイムが鳴り、自分が乗っている列車と入れ替わる形で 4 番線から 19 時 45 分発の賢島行き 7915 列車が出発した。名古屋駅で降りて編成番号を見たらなんと 10 月 4 日、12 月 2 日に乗車した 22000 系 5 番編成だった。何か縁だろうか。

20 時 00 分発の難波行き特急ひのとり 70 列車

20 時 02 分発の宇治山田行き特急アーバンライナー 9013 列車

20 時 15 分発の松阪行き特急 2013 列車 (12600 系)

20 時 30 分発の難波行き特急アーバンライナー 170 列車

を見物 (動画撮影) して東海道新幹線ホームに向かう。今回初めて名古屋駅の駅弁を売店で購入した。牛肉弁当を選択し、税込 1000 円以上だったのでお茶が付いてきた。あわせてもう一度ビールと思い 350ml のビールを購入した。

乗車した名古屋 20 時 49 分発の東海道新幹線のぞみ号は車内販売が三回程往復してた。こんなに来るならせめてお酒位は車内販売を利用して購入すれば良かった。あと、帰りの東海道新幹線は 9 月 22 日に久しぶりに乗車した時から今回で 7 回目になるが、乗る度に乗客が増えているようにも感じた。

帰宅してからのオチ

お腹が空いていたのでコンビニで購入したカップ麺とおにぎりをいただき、コーヒーを飲みクッキーを食べていたら急に気持ち悪くなった。歯も磨かず着替えもせずに横になり二時間程眠ったら回復した。

後日追記

この先、名古屋には安くは行けない事はほぼ間違いないし、これだけ 12200 系に乗れたし写真撮影も動画撮影もできたからもういいかなあと思ったが、なんと 12 月 22 日 (火) の夜、11 月 21 日 (土) 以降、米野駅で休車状態だった 4 両編成の 12200 系 50 編成が高安検車区で中間車 2 両を抜いて試運転をしたとのニュースが。モが先頭に入る形で再度運転が始まるならまた乗りに行

きたいと思うようになった。しばらくは様子見で、再度運行に入るか見守りたいが、運行に入るなら行きたいという気持ちになるかもしれない。もし見れる乗れるなら名古屋駅でのモが先頭になる出発列車だな。

以上